

# 平成 25 年度事業報告書

## 1. 一般概況

### (1) とうもろこしの国際需給の動向

2013/14 年度について、世界全体の生産量は、米国で例年より涼しい夏と生育期間の伸長により単収が上昇して史上最高となり、中国、EU も増加することから、世界全体では対前年比 12.1%増の 9 億 6,752 万トンと史上最高となると見込まれている。消費量は、米国におけるバイオエタノール向け需要の増加、中国における飼料用需要の増加が見込まれ、世界全体では対前年比 9.5%増の 9 億 4,372 万トンと史上最高が見込まれている。この結果、期末在庫量は対前年比 17.7%増の 1 億 5,847 万トンで、期末在庫率は前年度を 1.2 ポイント上回る 16.8%と見込まれている。

米国については、作付面積は対前年比 1.9%減の 3,861 万 ha であったが、単収は、例年より涼しい夏と生育期間の伸長により単収が上昇して史上最高となったことから、対前年比 28.7%増の 10.0 トン/ha となった結果、生産量は対前年比 29.2%増の 3 億 5,372 万トンと見込まれている。需要量は、燃料用エタノール向け需要及び飼料向け需要が増加し、対前年比 12.7%増の 2 億 9,719 万トンと見込まれている。この結果、期末在庫量は対前年比 77.3%増の 3,699 万トン、期末在庫率は前年度を 3.5 ポイント上回る 10.9%と見込まれている。

### (2) 国内の配合飼料生産の動向

平成 24 年度の配合・混合飼料生産量は、2,407 万トン、対前年比 99.6%となった。このうち配合飼料の生産量は、2,369 万トン、対前年比 99.5%となっており、畜種別の内訳では乳牛用及び肉牛用が増加し、養鶏用及び養豚用が減少した。

平成 25 年度 4 月～1 月の配合・混合飼料生産量は、2,004 万トン、対前年同期比 99.7%となった。このうち配合飼料の生産量は、1,974 万トン、対前年同期比 99.8%となっており、畜種別の内訳では、乳牛用及び肉牛用がそれぞれ 100.1%と増加したものの、養鶏用が 99.8%、養豚用が 99.6%と減少した。

### (3) 価格の動向

#### ① とうもろこしのシカゴ相場

とうもろこしのシカゴ相場については、平成25年4月以降、米国で低温多雨型の天候による作付けの遅れから、7ドル/ブッシェル前後で推移したものの、7月中旬以降、米国産の豊作の見込みから、4ドル台後半に値を下げた。11月以降、米国産とうもろこしの大豊作が確定的になったことから、4ドル代前半まで低下したが、平成26年1月以降、ウクライナ情勢悪化による供給減少懸念から、4ドル台後半で推移している。

#### ② フレート

米国ガルフ/日本間の海上運賃は、新造船の就航による船腹供給の増加、中国向け船舶需要の減少、世界経済の景気の減速による海上輸送の減少等により船舶の需給が緩和していることから、平成 24 年度に引き続き、50 ドル前後で推移している。

#### ③ 為替レート

欧州経済の先行き懸念等を反映して円高基調が続き、1 ドル 80 円前後で推移したが、24 年度 11 月中旬以降、円安が進展し、25 年度は 100 円前後で推移した。

#### ④ 配合飼料価格

配合飼料価格については、平成 25 年度第 1 四半期は、米国産の輸出需要が低調であること、また、南米穀物の生育が順調であったものの、昨年の大干ばつによる不作の影響からシカゴ定期は底堅く推移、また、為替について、新政権による積極的な金融緩和と大型の財政出動の発表、米国経済の景気回復への期待から急激な円安が進んだことからトン当たり 3,226 円引き上げられた。第 2 四半期は、米国産地での降雨が続き、新穀の作付けの遅れなどからシカゴ定期は引き続き底堅く推移し、大豆粕等についても、世界的な需要に支えられシカゴ定期が上昇したことからトン当たり 1,449 円引き上げられた。

第 3 四半期は、米国産とうもろこしの豊作の可能性が高まったことから、期末在庫率が緩和する見通しとなりシカゴ定期が下落、また、急激な円安の動きも収束したことからトン当たり 1,976 円引き下げられた。第 4 四半期は、米国産とうもろこしの豊作に加え、中国や南米でも安定した生産が続いたことからシカゴ定期が下落、大豆粕等の副原料については値上げ、為替については、前期に比べ若干の円安となったもののトン当たり 497 円引き下げられた。

#### 2. 会員、入会預り金及び会費の状況

平成 25 年度においては、会員及び会員からの入会預り金に異動はなかった。平成 26 年 3 月 31 日現在の入会預り金の状況は、次のとおりである。

会 員 別	入会預り金口数	入会預り金額
	口	千円
(独)農畜産業振興機構	8,000	800,000
(社)全国配合飼料供給安定基金	1,268	126,800
(社)全国畜産配合飼料価格安定基金	113	11,300
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	1,613	161,300
全国農業協同組合連合会	798	79,800
全国酪農業協同組合連合会	39	3,900
全国畜産農業協同組合連合会	1	100
全国開拓農業協同組合連合会	1	100
日本養鶏農業協同組合連合会	1	100
(協)日本飼料工業会	1,166	116,600
計 10 団体	13,000	1,300,000

機構の事業活動に必要な管理費用に充てるため新たに会費を徴収することとなり、平成 25 年度の会費として以下の会費を受け取り、すべて法人管理費に充てた。

(社)全国畜産配合飼料価格安定基金	485 千円
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	2,603
全国農業協同組合連合会	2,309
(協)日本飼料工業会	2,603
合計	8,000

### 3. 業務運営

#### (1) 配合飼料価格安定対策事業（公益目的事業1）

##### ① 交付契約数量

平成25年度の各契約基金との異常補填交付金交付契約数量は、24,564,140トンであり、基金別では、全国配合飼料供給安定基金7,090,664トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,488,410トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金15,985,066トンであった。

なお、9月に各基金間移動に伴う交付契約数量の変更を行った結果、全国配合飼料供給安定基金7,102,488トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,486,157トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金15,975,494トンとなり、総交付契約数量は24,564,139トンとなった。

##### ② 異常補填交付金交付事業

平成24年度第4四半期及び平成25年度第1四半期に係る異常補填交付金を5月及び8月に3基金に交付した。

(単位：kg、円)

区 分	第4四半期	第1四半期	合計
単位数当たりの額	776円/トン	2,062円/トン	—
補填対象数量	5,492,199,608	5,630,147,363	11,122,346,971
交付金の額	4,261,934,884	11,609,350,580	15,871,285,464

##### ③ 平成20年度通常補填財源貸付事業及び特別交付金交付事業

通常補填財源貸付事業においては、契約に基づく4回と3月の繰上償還を合わせ5回（5月、7月、10月、1月、3月）計27,000,000千円が償還され、これまでの機構への償還額合計は、81,000,000千円となり、通常補填財源貸付金残額は9,000,000千円となっている。

基金別償還等内訳は次のとおり。

(単位：千円)

	25年度	返済合計額	貸付金残額
全国配合飼料供給安定基金	7,394,400	22,183,200	2,464,800
全国畜産配合飼料価格安定基金	1,670,400	5,011,200	556,800
全日本配合飼料価格畜産安定基金	17,935,200	53,805,600	5,978,400
合 計	27,000,000	81,000,000	9,000,000

特別交付金交付事業においては、以下の特別交付金を交付した。

(単位：千円)

	特別交付金
全国配合飼料供給安定基金	112,168
全国畜産配合飼料価格安定基金	24,959
全日本配合飼料価格畜産安定基金	269,114
合 計	406,241

④ 平成 25 年度通常補填財源貸付事業及び特別交付金交付事業

各契約基金が、平成 25 年度において通常補填を行うための財源に不足が生じることから、機構が市中銀行から 180 億円を限度として借入契約し、各契約基金に、平成 25 年度第 1 四半期（8 月 1 2 日）及び第 2 四半期（1 1 月 1 2 日）の通常補填金交付に伴い貸付を行った。

(単位：千円)

	貸付額計
全国配合飼料供給安定基金	3,850,400
全国畜産配合飼料価格安定基金	815,050
全日本配合飼料価格畜産安定基金	8,794,560
合 計	13,460,010

特別交付金交付事業においては、以下の特別交付金を交付した。

(単位：千円)

	特別交付金
全国配合飼料供給安定基金	25,174
全国畜産配合飼料価格安定基金	5,307
全日本配合飼料価格畜産安定基金	58,110
合 計	88,591

⑤ 貸付事業

各契約基金が、平成 24 年度第 4 四半期における通常補填を行うための財源に不足が生じたため、機構の異常補填準備財産から不足額を、5 月に無利子で貸し付けた。

(単位：千円)

	貸付額
全国配合飼料供給安定基金	5,519,210
全国畜産配合飼料価格安定基金	1,183,590
全日本配合飼料価格畜産安定基金	12,658,920
合 計	19,361,720

なお、平成 24 年度において貸し付けた貸付金 13,959,260 千円を加えた総額は、33,320,980 千円となっている。

⑥ 配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業

平成 25 年度第 2 四半期には、通常補填積立基金及び異常補填積立基金が不足し十分な補填ができない状況となり、農畜産業振興機構の補助金により畜産経営体の配合飼料購入費の一部を助成する配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業を当機構が事業主体となって実施することになり、11 月及び 12 月追加分を合わせ 7,181,951 千円、契約基金に交付した。

(単位：kg、千円)

	交付対象数量	交付額
全国配合飼料供給安定基金	1,557,798,020	2,064,077
全国畜産配合飼料価格安定基金	332,649,680	440,760
全日本配合飼料価格畜産安定基金	3,529,900,299	4,677,114
合 計	5,420,347,999	7,181,951

⑦ 通常補填財源強化事業

通常補填準備財産の運営基盤の強化を図るため、農畜産業振興機構の補助金（90億円）を受け、3月に各契約基金に貸し付けた。

(単位：千円)

	貸付額
全国配合飼料供給安定基金	2,464,800
全国畜産配合飼料価格安定基金	556,800
全日本配合飼料価格畜産安定基金	5,978,400
合 計	9,000,000

(2) 飼料穀物備蓄対策事業（公益目的事業2）

① 備蓄実施計画

国の飼料穀物備蓄計画に基づき、四半期ごとに生産局長の承認を得て備蓄実施計画を作成し、飼料穀物保管等事業を実施した。

② 飼料穀物保管等事業の実施

備蓄穀物 600 千トンの保管について、備蓄実施計画、備蓄穀物保管委託契約に基づき、備蓄受託者 22 者及び営業サイロ等 36 者により備蓄用サイロ 975 千トンを含む所定の保管場所（全国延べ 104 箇所）において適正に保管した。

また、備蓄受託者が確保すべき通常在庫数量については、南米での大豆、とうもろこしの輸出数量の増大による船混み、台風及び海上の時化等による本船到着遅延等から一部緩和したものの、ほぼ所要の飼料穀物は確保された。

③ 備蓄穀物の貸付け

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに備蓄穀物 439,520 トンの貸付けを実施した。この貸付けは、米国から南米へとうもろこしをシフトしたこと及び南米での中国向け大豆の輸出増による本船船混みに伴う出港遅延及び冬場の荒天による海上の時化等による本船到着遅延によるものである。

なお、このうち配合飼料高騰緊急対策の「端境期における需給ひっ迫への対応としての備蓄穀物等の活用」による貸付は、54,667 トンとなっている。

④ 備蓄穀物の買入れ

平成 25 年 4 月に 30 千トン、8 月に 70 千トン及び 10 月に 150 千トンの備蓄穀物の買入を行うため、備蓄受託者を対象として一般競争契約（入札）を実施した。その結果、備蓄穀物は 600 千トンとなった。

### (3) 調査事業（公益目的事業3）

飼料製造工場を対象に、飼料生産・出荷・在庫動向、工場渡価格、原料使用量、都道府県別生産量、都道府県別出荷先別出荷量等を毎月調査するとともに、飼料穀物の国際需給、価格、フレート等配合飼料に関連するデータを取りまとめ、「飼料月報」として毎月発行し、また、ホームページに掲載した。

## 4. 会議の開催

### (1) 総会

- ① 第39回定時総会 平成25年6月27日開催
  - 第1号議案 平成24年度事業報告及び収支決算について
  - 第2号議案 公募による役員候補者について
  - 第3号議案 役員を選任について
  - 第4号議案 業務方法書及び貸付事業に関する業務方法書の一部変更について
  - 第5号議案 役員給与規程の一部変更について
- ② 臨時総会 平成25年9月13日開催
  - 第1号議案 定款の一部変更について
  - 報告事項 平成25年度事業計画書及び収支予算書の変更について
- ③ 臨時総会 平成25年10月29日開催
  - 第1号議案 定款の一部変更について
  - 第2号議案 総会において別に定める会費について
  - 報告事項 平成25年度収支予算書の変更について
- ④ 臨時総会 平成25年12月25日開催
  - 第1号議案 役員を選任について
- ⑤ 臨時総会 平成26年2月21日開催
  - 第1号議案 定款の一部変更について
  - 第2号議案 業務方法書の一部変更について
  - 報告事項 平成25年度事業計画書及び収支予算書の変更について
- ⑥ 臨時総会 平成26年3月25日開催
  - 第1号議案 定款の一部変更について
  - 第2号議案 業務方法書及び貸付事業に関する業務方法書の一部変更について
  - 第3号議案 理事の報酬総額及び監事の報酬総額について
  - 第4号議案 役員給与規程及び非常勤役員交通費支給基準の一部変更について
  - 報告事項 平成26年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

### (2) 理事会

- ① 第231回理事会 平成25年4月30日開催
  - 第1号議案 平成24年度第4四半期異常補填交付金の額について
  - 第2号議案 通常補填財源貸付事業貸付金の限度額について
- ② 第232回理事会 平成25年6月12日開催
  - 第1号議案 平成24年度事業報告及び収支決算について
  - 第2号議案 公募による役員候補者について

- 第3号議案 役員を選任について
- 第4号議案 業務方法書及び貸付事業に関する業務方法書の一部変更について
- 第5号議案 役員給与規程の一部変更について
- 第6号議案 第39回定時総会の招集及び付議事項について
- 第7号議案 平成25年度第2四半期飼料穀物備蓄実施計画について
- 第8号議案 平成25年度第2四半期の備蓄穀物の貸付限度数量について
- 第9号議案 会計監査人との損害賠償責任限定契約について
- ③ 第233回理事会 平成25年6月27日  
野崎修を理事長に、進藤眞理を専務理事とすることについて、平成25年6月27日、理事全員から文書により同意する旨の、監事全員から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、機構定款第38条第2項に基づき、理事会の決議があったものとされた。
- ④ 第234回理事会 平成25年7月23日開催  
第1号議案 平成25年度第1四半期異常補填交付金の額について  
第2号議案 平成25年度第1四半期通常補填財源貸付金の限度額について  
第3号議案 平成25年度第1四半期通常補填財源貸付金の貸付額について  
第4号議案 通常補填財源支援事業貸付金貸付規程の一部変更について
- ⑤ 第235回理事会 平成25年8月26日開催  
第1号議案 定款の一部変更について  
第2号議案 臨時総会の招集及び付議事項について  
第3号議案 配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業実施要領の制定について  
第4号議案 平成25年度事業計画書及び収支予算書の変更について  
第5号議案 会計処理規程の一部変更について
- ⑥ 第236回理事会 平成25年9月13日開催  
第1号議案 配合飼料異常補填交付金交付契約の変更について  
第2号議案 平成25年度第3四半期飼料穀物備蓄実施計画について  
第3号議案 平成25年度第3四半期の備蓄穀物の貸付限度数量について  
報告事項 職務執行状況報告について
- ⑦ 第237回理事会 平成25年10月15日開催  
第1号議案 平成25年度第2四半期通常補填財源貸付金の限度額及び貸付額について  
第2号議案 定款の一部変更について  
第3号議案 総会において別に定める会費について  
第4号議案 臨時総会の招集及び付議事項について  
第5号議案 平成25年度収支予算書の変更について
- ⑧ 第238回理事会 平成25年12月9日開催  
第1号議案 平成25年度第4四半期飼料穀物備蓄実施計画について  
第2号議案 平成25年度第4四半期の備蓄穀物の貸付限度数量について  
第3号議案 役員候補者について  
第4号議案 臨時総会の招集及び付議事項について
- ⑨ 第239回理事会 平成25年12月25日開催  
第1号議案 代表理事の選定について
- ⑩ 第240回理事会 平成26年2月5日開催

- 第1号議案 定款の一部変更について
- 第2号議案 業務方法書の一部変更について
- 第3号議案 臨時総会の招集及び付議事項について
- 第4号議案 通常補填財源強化事業貸付金貸付規程の制定について（本議案については、まだ調整中であることから、後日、同意書を得る形で理事会決議をすることとなった。）
- 第5号議案 平成25年度事業計画書及び収支予算書の変更について

⑪ 第241回理事会 平成26年2月19日

「通常補填財源強化事業貸付金貸付規程」を制定することについて、平成26年2月19日までに、理事全員から文書により同意する旨の、監事全員から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、機構定款第38条第2項に基づき、理事会の決議があったものとされた。

⑫ 第242回理事会 平成26年3月11日開催

- 第1号議案 定款の一部変更について
- 第2号議案 業務方法書及び貸付事業に関する業務方法書の一部変更について
- 第3号議案 理事の報酬総額及び監事の報酬総額について
- 第4号議案 役員給与規程及び非常勤役員交通費支給基準の一部変更について
- 第5号議案 臨時総会の招集及び付議事項について
- 第6号議案 平成26年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第7号議案 通常補填財源支援事業貸付金貸付規程の一部変更について
- 第8号議案 平成26年度第1四半期飼料穀物備蓄実施計画について
- 第9号議案 平成26年度第1四半期の備蓄穀物の貸付限度数量について
- 第10号議案 会計監査人の報酬について
- 第11号議案 飼料穀物備蓄対策事業実施要領の一部変更について
- 報告事項 職務執行状況報告について

(3) 運営委員会

機構業務の円滑な運営及び推進を図るため、基金業務関係8回、備蓄業務関係6回、計14回の運営委員会を開催した。

## 5. 役員の異動

### (1) 理事

平成25年6月27日  
退任 米山実 (学識経験者)  
平成25年6月27日  
退任 能登章友 (協同組合日本飼料工業会)  
平成25年6月27日  
再任 野崎修 (学識経験者)  
平成25年6月27日  
就任 進藤真理 (学識経験者)  
平成25年6月27日  
再任 小原良教 (全国農業協同組合連合会)  
平成25年6月27日  
再任 砂金甚太郎 (全国酪農業協同組合連合会)  
平成25年6月27日  
再任 中林政義 (日本養鶏農業協同組合連合会)  
平成25年6月27日  
就任 山内孝史 (協同組合日本飼料工業会)  
平成25年12月25日  
就任 澤井義雄 (学識経験者)  
平成25年12月31日  
辞任 野崎修 (学識経験者)

### (2) 監事

平成25年6月27日  
退任 木村元治 (学識経験者)  
平成25年6月27日  
退任 齊藤良樹 (全国農業協同組合連合会)  
平成25年6月27日  
就任 村尾誠 (学識経験者)  
平成25年6月27日  
就任 小谷英穂 (全国酪農業協同組合連合会)

## 6. 事業報告の内容を補足する重要な事項

平成25年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

< (参考) 主要業務処理事項 >

年月日	業 務 内 容
25. 3. 15	農林水産大臣より、平成 25 年度飼料需給計画の通知を受けた。
3. 19	農林水産省生産局長より、平成 25 年度飼料穀物備蓄計画の通知を受けた。
3. 19	農林水産省生産局長より、平成 25 年度第 1 四半期飼料穀物備蓄実施計画及び備蓄穀物の貸付限度数量の承認を受けた。
4. 1	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度畜産業振興事業に係る補助限度額等の通知を受けた。 補助限度額 7,045,657 千円
4. 12	監事木村元治、齊藤良樹により、平成 24 年度の決算に対する監査を受けた。
4. 15~17	文野公認会計士により、平成 24 年度の決算に対する監査を受けた。
4. 24	農林水産省生産局長より、平成 25 年度配合飼料価格安定対策事業における異常補填積立金の額の決定通知を受けた。 生産局長が別に定める額 6,230,000 千円
4. 26	運営委員会（基金）を開催した。
4. 30	第 231 回理事会を開催した。
5. 7	通常補填財源貸付金 45 億円の返済を受け、銀行へ借入金の返済をした（第 13 回）。
5. 10・15	平成 24 年度第 4 四半期における貸付事業貸付金 19,361,720 千円（追加交付含む）を貸付けた。
5. 22	平成 24 年度第 4 四半期に係る特別交付金 142,027 千円（24 年度未払金計上分を含む）を交付した。
5. 24	農林水産省生産局長より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業費補助金の割当内示を受けた。 割当額 142,123 千円
5. 31	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費 1,514,671 千円 補助金の額 1,514,671 千円
6. 10	運営委員会（基金・備蓄）を開催した。

年月日	業 務 内 容
6. 12	第 232 回理事会を開催した
6. 20	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業補助金の概算払 (第 1 四半期) として 175, 396 千円を受領した。
6. 21	農林水産省生産局長より、平成 25 年度第 2 四半期飼料穀物備蓄実施計画及び備蓄穀物の貸付限度数量の承認を受けた。
6. 27	第 39 回定時総会を開催した。
6. 27	理事長、専務理事の選定について、機構定款第 38 条第 2 項に基づく理事会決議をした (第 233 回理事会)。
6. 28	農林水産大臣より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業費補助金の交付決定通知を受けた。 補助事業に要する経費 142, 123 千円 補助金の額 142, 123 千円
7. 5	通常補填財源貸付金 45 億円の返済を受け、銀行へ借入金の返済をした (第 14 回)。
7. 5	運営委員会 (備蓄) を開催した。
7. 22	平成 25 年度第 1 四半期に係る特別交付金 61, 101 千円を交付した。
7. 22	運営委員会 (基金) を開催した。
7. 23	第 234 回理事会を開催した。
7. 31	農林水産大臣より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業費補助金の概算払 (第 1 四半期) として 35, 530 千円を受領した。
8. 6	農林水産省生産局長より、平成 25 年第 1 四半期に係る通常補填財源貸付金の貸付について承認を受けた。
8. 8	3 契約基金から、平成 25 年度異常補填積立金の上期分として 3, 071, 197 千円が納付された。
8. 12	3 契約基金へ平成 25 年度第 1 四半期に係る通常補填財源貸付金 7, 759, 710 千円を貸し付けた。
8. 26	運営委員会 (基金) 及び第 235 回理事会を開催した。

年月日	業 務 内 容
8. 30	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格高騰緊急支援特別 交付事業の補助限度額等の通知を受けた。 補助限度額 8,082,500 千円
9. 10	運営委員会（基金・備蓄）を開催した。
9. 13	第 236 回理事会及び臨時総会を開催した。
9. 20	農林水産省生産局長より、平成 25 年度第 3 四半期飼料穀物備蓄実施計画及 び備蓄穀物の貸付限度数量の承認を受けた。
9. 26	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業補助金の 概算払（第 2 四半期）として 221,877 千円を受領した。
9. 27	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格高騰緊急支援特別 交付事業補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費 7,919,527 千円 補助金の額 7,919,527 千円
9. 30	平成 25 年度配合飼料異常補填交付金交付契約の数量変更の承認を受けた。 とについて、内閣総理大臣から変更認定を受けた。
10. 4	農林水産大臣より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業費補助金の概算払 （第 2 四半期）として 35,531 千円を受領した。
10. 4	通常補填財源貸付金 45 億円の返済を受け、銀行へ借入金の返済をした（第 15 回）。
10. 15	運営委員会（基金・備蓄）及び第 237 回理事会を開催した。
10. 22	平成 25 年度第 2 四半期に係る特別交付金 103,235 千円を交付した。
10. 23~24	文野公認会計士により、平成 25 年度の決算に対する中間監査を受けた。
10. 29	臨時総会を開催した。
11. 7	農林水産省生産局長より平成 25 年度第 2 四半期に係る通常補填財源貸付金 の貸付について承認を受けた。

年月日	業 務 内 容
11. 8	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業補助金交付決定の変更及び追加交付決定を受けた。 補助対象経費 1,522,172 千円 補助金の額 1,522,172 千円
11. 11	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業補助金の概算払いとして 7,180,799 千円を受領した。
11. 12	3 契約基金へ平成 25 年度第 2 四半期に係る通常補填財源貸付金 5,700,300 千円を貸し付けた。
11. 25	全国畜産配合飼料価格安定基金から会費 485 千円を受領した。
12. 6	運営委員会（備蓄）を開催した。
12. 9	第 238 回理事会を開催した。
12. 20	全日本配合飼料価格畜産安定基金から会費 2,603 千円を受領した。
12. 25	第 239 回理事会及び臨時総会を開催した。
12. 25	農林水産省生産局長より、平成 25 年度第 3 四半期飼料穀物備蓄実施計画（変更）、平成 25 年度第 4 四半期飼料穀物備蓄実施計画及び備蓄穀物の貸付限度数量について承認を受けた。
12. 25	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度飼料穀物備蓄対策事業補助金の概算払（第 3 四半期）として 423,332 千円を受領した。
12. 25	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業補助金の概算払い（追加分）として 1,229 千円を受領した。
12. 26	日本飼料工業会から会費 2,603 千円を受領した。
12. 27	全国農業協同組合連合会から会費 2,309 千円を受領した。
26. 1. 7	通常補填財源貸付金 45 億円の返済を受け、銀行へ借入金の返済をした（第 16 回）。
1. 22	平成 25 年度第 3 四半期に係る特別交付金 112,266 千円を交付した。
2. 4	運営委員会（基金）を開催した。

年月日	業 務 内 容
2. 5	第 240 回理事会を開催した。
2. 6	農林水産省生産局長より、平成 25 年度配合飼料価格安定対策費補助金の割当内示を受けた。 割当額 10,000,000 千円
2. 19	「通常補填財源強化事業貸付金貸付規程」の制定について、機構定款第 38 条第 2 項の規定に基づき理事会決議をした（第 241 回理事会）。
2. 20	農林水産大臣より、平成 25 年度配合飼料価格安定対策費補助金の交付決定通知を受けた。 補助事業に要する経費 10,000,000 千円 補助金の額 10,000,000 千円
2. 21	臨時総会を開催した。
2. 25	平成 25 年度配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業（配合飼料価格安定基金運営基盤強化事業）の補助限度額等の通知を受けた。 補助限度額 9,000,000 千円
3. 7	農林水産省生産局長より、平成 26 年度飼料穀物備蓄計画の通知を受けた。
3. 10	運営委員会（基金・備蓄）を開催した。
3. 11	第 242 回理事会を開催した。
3. 13	（独）農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格高騰緊急支援特別交付事業補助金の補助金の額の確定通知及び返還金の通知を受けた。 返還金 8 千円
3. 14	農林水産大臣より、平成 26 年度飼料需給計画の通知を受けた。
3. 14	（独）農畜産業振興機構より、通常補填財源支援事業貸付金貸付規程の一部変更及び通常補填財源強化事業貸付金貸付規程の制定について承認を受けた。
3. 17	平成 25 年度配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業（配合飼料価格安定基金運営基盤強化事業）補助金の交付決定通知を受けた。 補助対象経費 9,000,000 千円 補助金の額 9,000,000 千円
3. 18～19	文野公認会計士により、平成 25 年度の決算に対する期末監査を受けた。
3. 25	臨時総会を開催した。

年月日	業 務 内 容
3. 25	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業 (配合飼料価格安定基金運営基盤強化事業) 貸付実施計画の承認を受けた。
3. 26~27	会計検査院 (第 4 局農林第 3 課) による会計実地検査を受けた。
3. 27	(独) 農畜産業振興機構より、平成 25 年度配合飼料価格安定基金運営円滑化等事業 (配合飼料価格安定基金運営基盤強化事業) 補助金の概算払いとして 9, 000, 000 千円を受領した。
3. 27	3 契約基金へ平成 25 年度通常補填財源強化貸付金 9, 000, 000 千円を貸し付けた。
3. 31	3 契約基金から、平成 25 年度異常補填積立金の下期分として 3, 158, 803 千円が納付された。
3. 31	3 契約基金から、通常補填財源貸付金 9, 000, 000 千円の繰上償還を受けた。